

《東部高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)33号》

きずな

東部ネット「絆」

～地域のネットワーク構築に向けて～

東部高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)では、地域で暮らす高齢の皆様が安心して生活していけるよう、介護・福祉・健康など、様々な面から総合的に支える為の身近な相談窓口として、地域のネットワーク構築に向けて活動してきました。今号では、今年度の活動の一部をご紹介します。

地域ケア会議

地域ケア会議とは、個々の事例検討を通じて地域課題の把握等を行ない、その課題に対して地域住民・行政・医療・福祉等の関係者が一緒に考えて地域づくりを推進していく手法のひとつです。



今年度は個々の事例検討(個別地域ケア会議)を7回、地域連携推進会議(圏域毎の地域ケア会議、東部地域合同地域ケア会議)を4回開催しています。6月の会議では、「見守り、声掛け活動」について行政、地区社協、民生委員の方々と意見交換を行いました。11月の会議では、東部中学校区・八木中学校区に分かれ、男性介護者の事例をもとに地域の活動や課題の共有を行いました。3月の会議では、これまでの地域ケア会議の報告をし、地域課題の共有を図っていきます。

認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座は、認知症の正しい理解と対応方法を学ぶ講座です。今年度は5月に流山高等学園の高校生を対象に行ない「自分の家族に認知症の人がいるので、今日のことを活かしたい」と感想を伺いました。9月には市民対象、10月・11月には向小金小、長崎小、東小の4年生を対象にキッズサポーター養成講座を開催しました。小学生の皆さんから「認知症の人がいたらゆっくり優しく声をかける」

「今日の学びを活かして助け合いたい」と感想があり、認知症への理解を深めることができました。



認知症とともに暮らすまちづくりの会

「認知症になっても安心して暮らす事のできるまちづくり」を目指して、向小金クリニックの大津医師を中心に、流山市在住・在勤の方々と認知症について、気軽に相談や意見交換ができる座談会です。今年度は4回開催し、参加された方から「物忘れと認知症の違い」「認知症かもしれない近所の方への接し方」「病院で処方される薬」等の質問や意見交換が行われてきました。2月の会は座談会に加え、大津医師によるミニ講話「認知症の基礎知識、認知症の進行を緩やかにする為に本人・周りの方の対応について」を開催し、「認知症の方が経験や能力をいかして地域の中へどう参加していくか」といった意見交換等が行われました。今後も地域の方々が認知症を考える機会となるよう取り組んでいきます。

認知症サポーター・フォローアップ講座

認知症サポーター・フォローアップ講座は、認知症サポーター養成講座受講済みの方を対象に開催しています。今年度は認知症の方を介護されているご家族から実体験、サポーターに望むことのお話しの後に、地域の事業所の方々も交えて、認知症の知識を活かした活動や関わり方、サポーターの活動の場面等について意見交換を行いました。「電車で席を譲る等、出来ることからしてほしい」というご家族のお話や、事業所で行なわれているボランティアのお話を聞いて、サポーターとして自分にも出来るようなことを考えるきっかけとなりました。



民生委員との勉強会



民生委員とより一層強い連携を図る為に、八木中学校区・東部中学校区の民生委員・児童委員協議会の定例会に出席し、勉強会を開催しました。

今回は「民生委員と包括との連携」をテーマに、一緒に関わりをもった事例を民生委員から発表して頂き、お互いの役割や地域で心配なことがあったら、連絡を取り合う必要性について話し合いました。

東部高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター) (東部中・八木中・おおたかの森中学校区の一部エリア)

電話: 04-7148-5665 Fax: 04-7141-2280

住所: 流山市野々下 2-488-5 (あざみ苑内)

(担当職員: 崎尾・西田・増田(佳)・増田(ゆ)・志水)

平日 8:30~17:00

土曜 8:30~12:00